



日本の昔話

イラスト 水上みのり

むかしむかしあるところに、

しょうじきもののじいさまがおりました。

ある冬ふゆの日、じいさまは、

すてられていた白い子犬を見つけました。

子犬「ワンワン」

じいさま「おお。かわいいそうに！さむかったろう」

じいさまは、子犬をふところにいれて、

つれてかえりました。

ばあさまもたいそうよろこび、

こどものいふたりない二人は

シロと名なづけて

だいじにそだてました。



シロ「ワンワン」

シロは、じいさまによくなくなりました。

じいさまが畑はたけへいくと

ついていき、

土をほったり、

たねまきをしたりして、

畑しごとをてつだいました。

シロ「ワンワン！ ワンワン！」

じいさま「おー、よしよし。」

シロはほんにめんこいのおー！

かみさまがさずけてくださったごどものようじゃ「

そんなある日のこと。

シロは畑はたけのすみで

いつもとはちがうようすでほえたてました。



シロ「ワンワン、ワンワン」

じいさま「おー、

シロ、どうしたんじゃ?」

シロ「ここほれ、ワンワン、

ここほれ、ワンワン」

じいさま「うん?ここをほれというんか?

よしよし、わかった」



じいさま

「あー、あー、あー、あー…」

おんやんやんやんやん。

じいさま

「おおー」

なんと、うーんとじゃ…」

畑はたけからおおばんこばんが

わーんわーんわーん

出てきたではありませんか。

そのようすを見ていたのが、となりのよくばりな
じいさまです。

よくばりじいさま「ほほう・・・」

よくばりなじいさまは、シロをむりやり

つれだしました。

よくばりじいさま「おらしら、

こっちへこい！早くこんか！」

シロ「ウー・・・」

よくばりじいさま「おい！

おおばんこばんは、どこじゃ？

早くおしえろ！」

しかし、シロはいっこうに

へんじをせず、

畑はたけのすみにすわりこみました。



よくばりじいさま「おお、こゝか！ ようし！」

じいさまは、いそいで畑をほりかえしました。

するとどうでしょう。

よくばりじいさま

「ひっ、ひっ、ひゃーっ！！」

出るわ出るわ。

土の中から

われたちゃわんやら、

うしのふんやら、

へびやらむかでやら！！



よくばりじいさま「だましたな。このうそつき犬め！」

シロ「キヤイーーン」

じいさまは、シロをなぐりころしてしまいました。

じいさま

「なんとむじうじとを・・・」

しょうじきもののじいさまは、

しんでしまったシロを、

にわにいていないにほうむりました。

そして目じるしに、

一本のまつの木をうえました。

じいさま

「シロや、すまないことを

したなあ。ゆるしておくれ。」

じいさまがうえたまつの木は、

おどろいたことにみるみる

大きくなりました。

じいさま「こりゃ、たまげた！ シロのかたみと

おもって、この木でうすをこしらえよう。」



そのうすで、

じいさまとばあさまは、

もちをつくことにしました。

じいさま「よしよし、よしよし」

（ぺったん、ぺったん）

するとどうでしょう。

じいさま

「な、な、なんと!」

うすからおおばんこばんが

びっくびっくと

出てきたではありませんか。

じいさまもばあさまも、

これまた

びっくりびっくしてん。



そのようすを、また、となりのじいさまが見ていました。

よくばりじいさま「ほほう……」

むりやりうすをかりてかえると、
力まかせにもちをつきました。

よくばりじいさま

「よしよ、よいっしょ」

(べったん、べったん)

するど……。

よくばりじいさま

「なんじゃ、こりゃー!」

くさったやさいに、

くさったにくやさかな。

はながまがってしまいそうなほど

くさくてたまりません。



おこったじいさまは、にわで、うすをもやしてしまいました。

それをきいたしょうじきもののじいさまは、
うすのはいをかきあつめました。

じいさま

「シロのおもい出じや。

せめてこのはいだけでも

たいせつにしよう」

そのときです。

じいさま「ああっ・・・」

かぜがはいを空たかく

まい上げました。

すると、あら、ふしぎ！

はいがかかったかれ木に

つぎつぎと花がさいたではありませんか。

じいさま「こりゃ、たまげた！

シロが花をさかせてくれた！」



じいさまはうれしくなって、

かれ木にのぼると、

はいをつかみました。

じいさま

「かれ木に花をさかせましょう！」

かれ木に花をさかせましょう！

おお！ さいたさいた！

かれ木が、

あつというまに、花ざかり。



ちょうどそのとき、

とのさまのぎょうれつがとおりかかりました。

とのさま「おお、あっぱれじゃ！まことに

みごとな花ざかりじゃ！

にっぽんいち

日本一のはなさかじいにほうびをとらせよ！」



じいさま「ありがとうございます！」

これもシロのおかげじゃ」

よくばりじいさま「ほほう……」

となりのじいさまも、

いそいでのことったはいを

かきあつめて、

かれ木にのぼりました。

そして、「いそとばかりに

どかっとはいをつかむと……。

よくばりじいさま

「かれ木に花をさかせましょう！」

かれ木に花をさかせましょう！」

ところが、花がさくどころか、

あたりいちめんはいだらけ。



とのさまやけらいたちの目やはなに
はいが入ってきてきて大さわぎ。

とのさま「ゲホゲホゲホ。

ぶれいもの！

このはいまきじじいをとらえろ！」

よくばりじいさま

「も、も、もうしわけ

ございません！

おゆるしてくださいー！ー！ー！」

とのさまにきつくおしおきをされた

じいさまは、なくなかなかえって

いったそうな。



お
わ
り